

仕 様 書

【1. 適用範囲】

本仕様書は、_____ 殿 に納入する

7. 92mmピッチ プリント基板用 コネクタについて規定する。

【2. 製品名称及び型番】

製 品 名 称	製 品 型 番
ウェハー アッセンブリ	5096-NC4

N：図面参照

【3. 定格及び適用電線】

項 目	規 格
最大許容電圧	250 V
最大許容電流	最大適用電線 (AWG #18) を圧着した ターミナルを用いて、 7 A
使用温度範囲	-40℃ ~ +105℃*1

[AC (実効値) / DC]

*1 通電による温度上昇分も含む。

【4. 性 能】

4-1. 電気的性能

項 番	項 目	条 件	規 格
4-1-1	接 触 抵 抗	コネクタを嵌合させ、開放電圧 20mV 以下、 短絡電流 10mA にて測定する。 (JIS C5402 5.4 に準拠)	10 mΩ 以下
4-1-2	絶 縁 抵 抗	コネクタを嵌合させ、隣接するターミナル間 及びターミナル、アース間に、DC 500V を 印加し測定する。 (JIS C5402 5.2/MIL-STD-202 試験法 302 試験条件B に準拠)	1000 MΩ 以上
4-1-3	耐 電 圧	コネクタを嵌合させ、隣接するターミナル間 及びターミナル、アース間に、 AC 1500V (実効値) を1分間 印加する。 (JIS C5402 5.1/MIL-STD-202 試験法 301 に準拠)	異状なきこと

4-2. 機械的性能

項番	項目	条件	規格
4-2-1	挿入力及び抜去力	毎分 25±3mm の速さで挿入、抜去を行なう。	第 6 項 参 照
4-2-2	端子強度	全ての方向に1分間、500gfの力を加える。	割れ、折れのないこと
4-2-3	端子保持力	毎分 25±3mm の速さでピンを軸方向に押す。	2.0 kgf 以上

4-3. その他

項番	項目	条件	規格	
4-3-1	繰返し挿抜	1分間 10回 以下の速さで挿入、抜去を 30回 繰返す。	接触抵抗	20 mΩ以下
4-3-2	温度上昇	コネクタを嵌合させ、最大許容電流を通电し、コネクタの温度上昇分を測定する。(UL 498 に準拠)	温度上昇	30 °C 以下
4-3-3	耐振動性	DC 1mA 通电状態にて、嵌合軸を含む互いに垂直な 3方向 に掃印割合 10~55~10 Hz/分 全振幅 1.5mm の振動を各 2時間 加える。(MIL-STD-202 試験法 201A に準拠)	外 観	異常なきこと
			接触抵抗	20 mΩ以下
			瞬断	1 μs以下
4-3-4	耐衝撃性	DC 1mA 通电状態にて、嵌合軸を含む互いに垂直な 6方向に 50G の衝撃を各3回 加える。(JIS C0041/MIL-STD-202 試験法 213B 試験条件A に準拠)	外 観	異常なきこと
			接触抵抗	20 mΩ以下
			瞬断	1 μs以下
4-3-5	耐熱性	コネクタを嵌合させ、105±2°C の雰囲気中に 96時間 放置後取り出し、1~2 時間 室温に放置する。(JIS C0021/MIL-STD-202 試験法 108A 試験条件A に準拠)	外 観	異常なきこと
			接触抵抗	20 mΩ以下
4-3-6	耐寒性	コネクタを嵌合させ、-40±3°C の雰囲気中に 96時間 放置後取り出し、1~2時間 室温に放置する。(JIS C0020 に準拠)	外 観	異常なきこと
			接触抵抗	20 mΩ以下
4-3-7	耐湿性	コネクタを嵌合させ、40±2°C、相対湿度 90~95%の雰囲気中に 96時間 放置後取り出し、1~2時間 室温に放置する。(JIS C0022/MIL-STD-202 試験法 103B 試験条件B に準拠)	外 観	異常なきこと
			接触抵抗	20 mΩ以下
			耐電圧	4-1-3項満足のこと
			絶縁抵抗	100 MΩ以上

項番	項目	条件	規格	
4-3-8	温度サイクル	コネクタを嵌合させ、 -55°C に30分、 $+105^{\circ}\text{C}$ に30分これを1サイクルとし、5サイクル繰返す。但し、温度移行時間は5分以内とする。試験後1~2時間室温に放置する。(JIS C0025に準拠)	外観	異常なきこと
			接触抵抗	20 mΩ以下
4-3-9	塩水噴霧	コネクタを嵌合させ、 $35\pm 2^{\circ}\text{C}$ にて $5\pm 1\%$ 重量比の塩水を 48 ± 4 時間噴霧し、試験後常温で水洗いした後、室温で乾燥させる。(JIS C5028/MIL-STD-202 試験法101D 試験条件B に準拠)	外観	割れ、著しい腐食等異常なきこと
			接触抵抗	20 mΩ以下
4-3-10	亜硫酸ガス(SO_2)	コネクタを嵌合させ、 $40\pm 2^{\circ}\text{C}$ にて $50\pm 5\text{ppm}$ の亜硫酸ガス中に24時間放置する。	外観	異常なきこと
			接触抵抗	20 mΩ以下
4-3-11	半田付け性	ターミナルまたはピンをフラックスに浸し、本体の取付け基準面より1.2mm迄、 $230\pm 5^{\circ}\text{C}$ の半田に 3 ± 0.5 秒浸す。	濡れ性	浸漬面積の75%以上
4-3-12	半田耐熱性	ターミナルまたはピンを本体の取付け基準面より1.2mm迄、 $260\pm 5^{\circ}\text{C}$ の半田に 5 ± 0.5 秒浸す。	外観	端子ガタ、割れ等異常なきこと

【5. 外観形状、寸法及び材質】

図面参照

【6. 挿入力及び抜去力】

[単位: kgf]

極数	挿入力 (最大値)			抜去力 (最小値)		
	初回	6回目	30回目	初回	6回目	30回目
2	5.6	4.8	4.8	0.6	0.5	0.5
3	8.0	7.2	7.2	0.9	0.7	0.7

嵌合相手モレックス製品番号

5195-N3

5194T, TL